

【身に付けたい5つの力の系統的な力】

低学年

中学年

高学年

話す姿

- ・話型を活用して自分の意見を伝える。
- ・話合いに興味をもつ
- ・自分の考えを伝えることができる。
- ・「はい」 たつ 「です」などの型を決める
- ・きまりを実態に合わせて設定する。

- ・提案理由を意識して自分の主張をする。
- ・自分なりの理由を明確にした考えを表現することができる。

提案理由を意識して発表する

- ・自分の主張を事例（数値化しているもの・根拠）をあげて説明する。
- ・議題に沿って全員が考えをもち、伝えることができる。
- ・自分の伝えたいことについて、全体の反応を聞いたり受け止めたりできること
- ・次につなげる発言をする

聴く姿

- ・話し手を向いてうなずきながら聴く。
- ・最後まで話を聴く。
- ・共感しながら聴く。

- ・話し手を向いてうなずきながら聴く。
- ・最後まで話を聴く。
- ・共感しながら聴く。
- ・自分の意見の違いを意識して聴く。

- ・共感・反対などの視点をもって聴く。
- ・相手の意見と自分の考えを比べながら聞くことができる。
- ・話の要点を捉えて、意見をもつことができる。

司会グループ

【学級会】
2年…司会グループを経験する。
（3学期）
1年…教師主導で行う。
担任 8 割

- 【学級会】
- ・教師の助言を受けながら児童主体で行う。
 - ・児童主体+担任の補助あり。
 - ・意見をまとめることができる。

- 【学級会】児童主体で行う。
【計画委員会】
- ・議題の選定は教師も介入する。
 - ・2学期は子供たちだけで行わせたい。

議題

- ・教師主導の課題点の話合いを行う。
- ・議題例の掲示物を利用する。
- ・「話し合ってたかった」という経験をする。

- ・クラスの課題点の話合いを行う。
- ・議題は議題例の掲示物を利用する。

- ・クラス・学校の実態を踏まえて議題をあげる。
- ・自分たちで問題を見出して話し合うことを決める。

合意形成

- ・受け入れて(やってみて)、感想をもてる。

- ・「賛成」の理由が言える。
- ・意見のいいところを見付けられる
- ・一旦ゆずる、折れる。
- ・友達の考えや理由を理解して、一旦受け止められる。

- ・誰もが納得できる説明をして合意形成をしていく。
- ・全員が納得するまで話合うことができたら、最終多数決もありうる。

互いを認め合い、社会でよりよく生きる児童の育成
→ 学級・学校でよりよい人間関係をつくる活動を通して →